



医学セミナーの講師を務めた
額賀唯至さん＝鹿嶋市宮中

整形外科医の仕事解説

鹿嶋・清真学園 卒業生 額賀さん講演

地域医療の担い手育成を目的とした医学セミナーが8日、鹿嶋市宮中の清真学園（飯山克則校長）で開かれた。同校卒業生で額賀整形外科医院（同市）医師の額賀唯至さん（40）が整形外科学をテーマに講演。生徒

などの疾病、外傷が対象で、その病態の解明と、治療法の開発、診療を行う」と前置きし、「どの病院でも新患者数、外来患者数、入院患者数、手術件数が多く、社会的需要の高い科の一つ」と述べた。

また、人工股関節、人工膝関節置換術や肩の腱板手術などを挙げ「高齢者の生活の質（QOL）を支える医療」と強調。骨粗しょう症への薬物療法の進歩発展が見られていることにも触れ、「行動範囲が広がるとともに、治療効果を実感できるため、満足してもらえ

る科」と説明した。手術以外の治療として、「薬物療法や運動療法、理学療法、ブロック注射、日常生活指導などを行う機会も多い」とし、交通事故といった救急外傷を担っていることも紹介した。

このほか、整形外科医の

仕事として、写真や図を使って症例、手術の方法などを解説。鹿行地域の医師不足についても語った。

セミナーには、中高の生徒と保護者ら約40人が参加。医師を志しているという高校2年、斉丸光太郎さん（17）は「患者数が多いことなどを知り、整形外科に対する印象が変わった。患者目線を大切にする医師になりたい」と話した。

（松本篤史）